

喜多見電車基地周辺に2,588枚の太陽電池パネルを設置 太陽光発電事業に参入します

年間発電量約579,000kWh(一般家庭約160世帯分)
2014年3月から運用開始

小田急電鉄株式会社(本社:東京都新宿区 社長:山木 利満)では、2014年3月、喜多見電車基地内(東京都世田谷区喜多見)と周辺施設に太陽電池パネルを設置し、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を活用した太陽光発電事業を開始いたします。

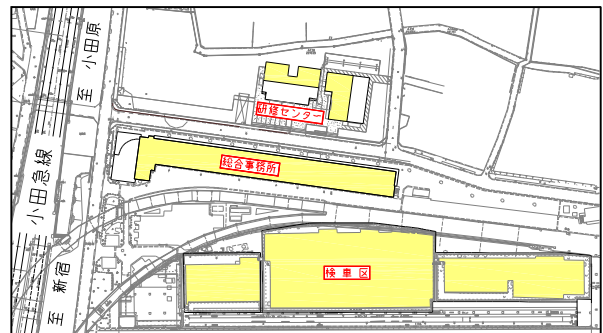
これは、国内の環境、資源・エネルギー情勢を踏まえ、再生可能エネルギーである太陽光を利用した発電事業に取り組むことによって、今後の電力需要に対応するとともに、CO₂排出量を抑制して環境負荷低減にも貢献していくものです。

喜多見電車基地内や周辺建物の屋上・屋根部分などの未利用スペースに、太陽電池パネルを計2,588枚設置し、年間約579,000kWhの電力を供給いたします。この電力量は、一般家庭の約160世帯分に相当するものです。運用開始は、2014年3月を予定しております。

発電した電気は、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」による「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を活用して、東京電力株式会社に売電する予定です。

太陽光発電事業の概要は、下記のとおりです。

太陽電池パネル設置イメージ(部分に太陽電池パネルを設置します)



記

1. 実施場所 喜多見電車基地ほか
(喜多見電車基地内 喜多見検車区・総合事務所屋上、研修センター屋根上)
2. 所 在 東京都世田谷区喜多見9丁目
3. 発電事業者 小田急電鉄株式会社
4. 設備概要

事業面積	約9,200m ²
設置パネル数	2,588枚
発電能力	590.2kW
年間発電量	約579,000kWh (一般家庭の約160世帯分に相当)
年間CO ₂ 排出削減量	約269t-CO ₂

2011年度の実績に基づく排出係数(環境省発表)より算出

5. スケジュール(予定)

着 工	2013年 9月
竣 工	2014年 2月
運用開始	2014年 3月

以 上